

## ■ユニバーサルデザインの授業づくり研修会

どの子ども主体的に参加し、わかりやすく学べる授業にするには、どのような工夫が必要なのかということについて研修会を持ちました。これは、長浜市教育委員会の事業の一つでもあります。講師には、関西国際大学から中尾繁樹教授にお越しいただきました。

本校の教員だけでなく、長浜市内の各中学校の先生方も参加して行いました。

これまで、黒板の上の方には何も貼らない(集中できないから)など、教室・学習環境の工夫を主体に考えていましたが、今日の中尾教授のお話では、まず、「子どもを見ること。そして、子どもにあった授業をしていくこと」が大切だということでした。

また、今の子どもたちは、タブレット、スマホ、パソコン、ゲームなどに触れる時間が多いため、「デジタルスクリーン症候群」に陥りやすいということもお聞きしました。

いろいろな情報を取り入れながら、授業づくりを研究していきたいと思います。

